

銀行名	清水銀行
タイトル	国際協力銀行（JBIC）との協調による海外現地法人向け融資の対応
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当行は平成 25 年より海外業務専担者を配置し、海外進出ニーズのある取引先に対して現地情報提供、事業計画策定支援、セミナー等を行いながら、資金需要の把握、掘り起こしを行ってきた。 ・ 従来、海外現地法人(以下、「海外現法」)向けの資金需要については、親子ローンにて対応してきたが、現地通貨建てによる資金調達ニーズの増加に伴い、海外現法向けの融資手法を模索。 ・ 当行は海外現法向けの融資実績がなく、海外拠点も有していないことから、国際協力銀行との協調融資スキームの検討に至った。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車部品製造業者である A 社はタイに現地法人 B 社を有しており、B 社の受注増加に伴い設備の増強を検討していた。 ・ 現地での売上が今後も見込まれることから、設備資金の調達にあたっては現地通貨建(パーツ)を希望していた。 ・ 当行はこれまで非メイン行であったが、海外業務専担者が取引店との同行訪問により資金調達ニーズの把握を行う一方、国際協力銀行との関係強化を図り、メイン行に先駆けて融資提案を実施した。 ・ 当行提案が A 社に合致したことから、平成 26 年 6 月に総額約 200 百万円の融資実行に至った。 <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際協力銀行との協調により当行初となる海外現法向け融資を実行。 ・ A 社のニーズに沿った提案を行った結果、当行が全面的に資金対応をすることが出来た。 ・ 海外現法向け融資実績を蓄積したことで、取引先に対する提案の幅が拡大。同スキームの活用により、他取引先に対しても融資提案を行っており、更なる案件成約を見込んでいる。

銀行名	清水銀行
タイトル	静岡県立大学経営情報学部 経営情報特別講義「地域金融論」開催
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金融・経済に関する実践的な知識の習得を目的とした講義を提供することにより、地域の将来を担う人材を育成し、豊かな地域社会の発展に貢献する。 ・ 大学への講義提供を通じ金融経済教育へ関与することで、学生が金融機関の業務について知識を深め、職業について考える機会となり、新たな職業観の形成や就業意識を高めることに貢献する。 <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本講義は金融経済教育の取組みの一環として、平成 17 年より毎年開催。 ・ 平成 25 年度は平成 25 年 10 月から平成 26 年 2 月まで全 15 回の講義を開催し、72 名の学生が受講。カリキュラムは下記の通り。 <ul style="list-style-type: none"> - 経済環境について - 金融と地方銀行の役割について - 決算書の見方、融資推進業務、企業再生支援等について - CS・マナーについて - 銀行の事務について - コンプライアンスについて - リスクマネジメントについて 等 <p>【取組みの効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本講義を受講した学生の多くから「講義内容に興味・関心が持てた、さらに勉強したくなった」との評価を得ている。 ・ 銀行の具体的な企業活動や業務内容を伝えることで、社会人として働くことへのイメージ作りや職業について考える機会を与えていることが評価され、他の講義と比べても人気ある講義のひとつとなっている。